

平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年2月6日

上場会社名 **東ソ一株式会社**

(コード番号: 4042 東証・大証 第1部)

(URL <http://www.tosoh.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 土屋 隆
 問合せ先責任者 理事 経営管理室部長 加古 一夫

TEL (03) 5427 - 5123

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度に
 おける認識の方法との相違の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成16年3月期第3四半期	341,608	-	14,987	-	9,990	-
平成15年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	471,920		28,048		21,361	

	四半期(当期) 純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
平成16年3月期第3四半期	7,041	-	11	77	-	-
平成15年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	4,809		7	87	-	-

(注) 当該四半期より第3四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載していません。

(2) 財政状況(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成16年3月期第3四半期	561,946	99,424	17.7	166	20
平成15年3月期第3四半期	-	-	-	-	-
(参考) 15年3月期	545,696	92,794	17.0	154	93

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	485,000	24,000	13,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 21円73銭
 通期予想営業利益 30,000百万円

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期（平成15年4月1日～平成15年12月31日）のわが国経済は、個人消費が低迷しているものの、設備投資の増加や好調な輸出を背景に企業業績が回復基調にあり、景気に回復の兆しが現われてまいりました。

化学業界を取り巻く環境につきましては、中国を始めとするアジアの旺盛な需要を背景に出荷が増加し、また、海外市況も上昇していることから、原燃料価格が高止まりしたものの、総じて好調に推移いたしました。

このような状況のもと、製品価格の維持・是正、更なる事業基盤の強化、経営の合理化に鋭意取り組んでまいりました。しかしながら、期前半に当社四日市事業所のエチレンプラント等が停止したため、誘導品の生産維持、代替品の外部調達等により販売数量の確保に努めましたものの、損益面では不本意な結果となりました。

売上高は3,416億8百万円、営業利益は149億87百万円、経常利益は99億90百万円、当期純利益は70億41百万円となりました。

当第3四半期の事業別の概況は次のとおりです。

石油化学事業

オレフィン製品は、四日市プラント停止に伴い、エチレン、プロピレンを始めとする各留分及びキュメンの生産が大幅に減少したため、可能な限り各留分を外部から購入し販売数量の維持に努めましたが、出荷は低調なものとなりました。市況につきましては、ナフサを始めとする原料価格の高騰を反映して、国内・海外とも上昇してまいりました。

ポリエチレンは、四日市プラント停止に伴い、国内外ともに出荷が減少いたしました。クロロブレンゴムは、国内出荷が需要の減少により低迷しました。輸出は出荷が堅調に推移いたしました。価格は円高の影響を受けて低下いたしました。

この結果、売上高は1,034億23百万円となりました。

基礎原料事業

苛性ソーダ、塩化ビニルモノマーは、出荷が堅調に推移いたしました。市況については、苛性ソーダは国内価格が低迷しました。塩化ビニル樹脂及び塩化ビニルモノマーは海外市況が期前半に中国ユーザーの一時的な買い控えにより低迷しておりましたが、昨秋以降に引き合いが活発化し、上昇してまいりました。

セメントにつきましては、公共投資が引き続き低迷したことから、出荷は低調に推移しております。

この結果、売上高は1,018億22百万円となりました。

機能商品事業

エチレンアミンは、アジア地域の旺盛な需要を背景に輸出が好調に推移いたしました。

液体クロマトグラフィー用充填剤は海外における出荷が伸び、診断試薬は国内を中心に出荷が好調に推移いたしました。

ジルコニアは需要が一部回復したことから出荷が順調に推移し、電解二酸化マンガンは、アジア・米国向けに輸出が伸びました。

スパッタリングターゲットは、主要市場であるフラットパネルディスプレイ市場が引き続き拡大し、出荷が好調に推移しております。石英ガラスは、半導体・液晶市場の回復に伴い出荷が好調に推移いたしました。

オルガノ（株）及び同社の子会社における水処理装置及び薬品については、受注装置の納期等が概ね期末に集中するため低い水準の売上高となっておりますが、予想どおり推移するものと見込んでおります。

この結果、売上高は1,085億90百万円となりました。

サービス事業

建設関連子会社の売上は期末に集中する傾向にありますが、受注環境も厳しいため、同事業の売上高は277億71百万円となりました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ162億49百万円増加し、5,619億46百万円となりました。また、有利子負債残高は140億59百万円増加し、3,129億45百万円となりました。株主資本は66億29百万円増加し994億24百万円となりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期の業績は、水処理及び薬品、建設関連事業の売上が期末に偏る特性があり低い水準にとどまりましたが、期末には概ね予想どおりの売上が見込まれることから、業績予想に変更はありません。

4.平成16年3月期 第3四半期 要約財務諸表

(1)要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	第1～第3四半期累計 (H15.4.1～H15.12.31)	(参考)前期 (H14.4.1～H15.3.31)
	金額	金額
売上高	341,608	471,920
営業利益	14,987	28,048
持分法による投資利益または損失()	696	697
その他営業外収益または費用()	4,299	5,989
経常利益	9,990	21,361
特別利益	3,874	4,681
特別損失	992	14,308
税金等調整前当期純利益	12,872	11,734
法人税等	6,474	5,941
少数株主利益または損失()	643	983
当期純利益	7,041	4,809

(2) 要約連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	第 3 四半期 (H15.12.31現在)	(参考) 前期 (H15.3.31現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産	241,098	225,908
現金及び預金	22,004	21,273
受取手形及び売掛金	125,881	124,577
棚卸資産	75,514	64,004
その他	17,698	16,052
固定資産	320,848	319,788
有形固定資産	244,616	244,844
無形固定資産	6,314	7,620
投資その他の資産	69,916	67,324
資産合計	561,946	545,696
(負債の部)		
流動負債	283,091	273,700
支払手形及び買掛金	65,728	65,880
短期借入金	168,479	143,225
一年以内償還社債		20,000
一年以内償還転換社債	9,864	9,864
その他	39,019	34,731
固定負債	160,116	158,829
社債	32,000	12,000
長期借入金	102,602	113,796
その他	25,514	33,032
負債合計	443,207	432,530
(少数株主持分)		
少数株主持分	19,315	20,371
(資本の部)		
資本金	40,633	40,633
資本剰余金	29,727	29,727
利益剰余金	31,965	28,027
その他	2,901	5,593
資本合計	99,424	92,794
負債、少数株主持分及び資本合計	561,946	545,696

(3) 事業の種類別セグメント情報

第1～第3四半期累計

(単位：百万円)

	石油化学事業	基礎原料事業	機能商品事業	サービス事業	合計
売上高	103,423	101,822	108,590	27,771	341,608
営業費用	101,891	97,428	100,449	26,852	326,621
営業利益	1,532	4,394	8,141	919	14,987